



会員数 19人

3月卓話

「いま、統計が面白い」

福岡県調査統計課調査員 古庄 敬子 氏

「人生の先輩の皆さんの前で話をするのでドキドキしています」と、私たちとはあまり馴染みのない統計の話が始まりました。講師が担当する主な総務省の統計調査には、暮らしをよりよくするための家計・労働力・小売物価統計の3つの調査があり、年金、児童手当など国の施策の基礎資料となるそうです。「家計調査」は家庭でお金がどのように使われているか、「労働力調査」は人々の働いている状況などを調べ、「小売物価統計調査」では、ものやサービスの変化などを明らかにします。これら調査は毎月実施されていて、翌月に新聞、ラジオ、テレビなどで報道され、国の施策だけでなく、民間企業や研究所など広く利用されているそうです。とても大切な調査を担っていることが分かります。



さて、今年年女の古庄さんは、巳年の人口は1002万人、うち昭和40年生まれの自分と同じ巳年生まれが最も多いと、資料を示しながら自己紹介。沢山ある統計調査の中で、「家計調査」を中心に話が進められました。人々の食生活は土地柄によって特徴が表れますが、北九州市の食品支出金額全国一は「刺身の盛り合わせ」だそうです。令和3年～5年の平均支出額は7,148円、全国平均の1.6倍で魚貝類が日常的に食べられていることが分かります。が、刺身は生もので、餃子などの加工品と違い町おこしの対象としてはふさわしくなく、宇都宮、浜松、宮崎のように地域間で三つ巴の消費量No1争いなどは出来ません。北九州市を元気にしたいのですが、ほかに支出金額が高いのは、ごぼう、たらこ等の原材料で、町おこしの起爆剤になりそうもありません。鰯も候補になりそうですが、インパクトが今一つ、北九州市らしい特徴があるものはないのか、みんなで頭を抱えてしまいました。「寿司の町北九州」という声も出ていたのですが…。なかなか妙案は見つかりません。しかし、家賃調査においては市内の家賃は安くて、住みやすい。病院も増えていて環境は良く整っているように思うのですが。



ここから古庄さんが情熱を注いでいる合唱お話になりましたが、テーマが逸れましたので割愛させていただきます。家計の消費行動は年ごとに、月ごとに年齢別に変化します。70歳代で支出額の多いのはサプリメントで、30歳未満の所帯4.5倍だそうですよ、皆さん納得ですよ。

これからも家計調査、労働力調査、国勢調査等々、生きて生活していく上で大切な基礎調査に、どうぞご協力下さいと話を結ばれました。

会場からの質問では、ラーメン品目における豚骨ラーメンと醤油ラーメンの問題、北九州市の人口減少の原因についての意見等が出て、講師と会員とのやり取りが繰り広げられて終わりとなりました。見えないところで苦勞されている統計調査員の仕事に触れて、縁の下で支えてくれる人々の存在を知ることができて感謝しています。(内藤)

3月の例会報告

今月も体操はなし、身体がギクシヤク。でも、誕生日を迎える会員はなんと神田、遠藤、藤原、安河内、安高会員の5名で賑やかです。それぞれに思いのこもったコメントで喜びを表現されました。今月が最後となるこのホテルでのディナーを、皆さんテーブル毎にそれぞれ味わい尽くしているようでした。食後の休憩の後は議事に入り、会長挨拶の後、卓話「いま、統計が面白い」というテーマで、福岡県調査統計課調査員古庄敬子さんによる統計の苦労や面白さが話されました。委員会、同好会報告では、5月29日のグリーンパーク行きは、4月例会時に申込みと会費納入をと交流委員長からコメント。続いて今年役員改選の年、4月例会後に役員選考委員会の発足と、4月からの例会場変更に伴う会員へのお願いを植田会長が伝え、終わりに、これまでお世話になったホテルの担当者3名(白石、竹下、山田)に、シェフも加えて、会長から感謝の気持ちと寸志を渡しました。そして、いつものプロバスの歌を歌ってホテルに別れを告げました。(内藤)

委員会報告

企画委員会

4月1日 5名出席

花冷えの1日、17時30分から湖月堂で開催しました。5月例会卓話は、北九州市観光にぎわい部による「インバウンド」に関するお話です。実は、事前にお問い合わせしていた部長さんが4月の人事異動で変わり、後任の部長さんに日程のみの確認を取りましたが、講師や演題は9日に打ち合わせることになりました。決定した内容は4月例会で皆さんにお知らせします。

6月例会卓話は、ハンドベルの石井のり子さんです。石井さんはハワイや韓国など世界を舞台に演奏活動を続けており、会員の皆さんにもハンドベル体験をと考えています。ご期待ください。(松本)

交流委員会

4月8日 6名出席

4月8日の18時から湖月堂で開催しました。5月29日に開催予定の「グリーンパークバラ園探訪」の、詳細なスケジュールの確認を行いました。今月は議題もほかにありません。桜の美しい夜に食事をしながら歓談し、5月の行事の成功することを望みながら散会となりました。(柴村)

広報委員会

4月7日 3名出席

4月7日12時30分からテトラホテル北九州で開催しました。満開の桜日和、会議よりは……と思われるお日和です。昼食後、文殊の知恵?の女性3名で会議を進めました。つながり5月号の編集会議では卓話の原稿担当者、写真の確認などを行い、4月の同好会活動は活発なので、今のところトピックス記事はありませんが、誕生日の会員も3名いて、なんとか紙面は埋まりそうでホットしました。いずれにしても、会員の皆さんのご協力と投稿を切にお願いいたします。4月号の校正もしっかりと行い、早々に解散となりました。(内藤)

グリーンキャンペーンに参加

3月12日の午前10時からくもり空の中、小倉北区米町校区の「まち美化運動」に地域の自治会や職域団体など、200名が集まりました。北九州プロバスクラブからは新城会員と藤原会員が参加しました。主催者挨拶の後に参加者それぞれは軍手、ゴミ袋、火バサミを受け取り、駅前から米町公園周辺をたばこの吸い殻、空き缶、雑草、落ち葉等を1時間ほどかけて収集しました。街の美化に協力できて、心地よい汗をかきました。(新城)



新年早々、奈良へ旅して来ました。今回の目的は、古式豊かな伝統ある有名な奈良ホテルに、宿泊することでした。奈良駅より北へ、奈良公園に隣接した所がありました。創業 115 年で、木造建築の本館は辰野金吾氏の設計だそうです。広い庭を見渡すと、鹿がチョココンと座っていて、静かな佇まいでした。ボーイさんの温かなおもてなしの笑顔で迎えられ、とても気持ちの良いものでした。

夕食は、フランスワインをお供に、フレンチのフルコースを食し、とても美味しいもので、ホテルライフを存分に満喫できました。

ホテルの近くには、新薬師寺があり、境内には天平時代の傑作 12 神将像が安置されていて、勇壮な醍醐味のある像でした。最後に、日本酒「春鹿」を製造している工場を見つけ、お酒好きの私としては、利き酒を何種類もして満足、満足。冬の奈良を存分に楽しみました。次はどのホテルに行こうかなと思うこの頃です。

同好会活動報告

食 美 会

4月4日晴天の中、八幡東区にある創作料理の店「セルフイーユ」に10名で出かけました。ワイン片手に前菜、スープと続き、主菜は鯛のポワレ、黄な粉豚のソテーと豪華なものでした。皆さんの話がはずみ、賑やかで楽しいひとときでした。高見地区は、タイミング良く桜が満開で、食後の散策をして、気持ちの良いものでした。(新城)

日 本 酒 の 会

3月15日、今年最初の酒蔵巡りは、皿倉山の麓の溝上酒造の蔵開きへ行きました。銘酒“天心”の蔵元で参加者は9名。当日は寒い上に雨が降って生憎の天気でした。10時30分大蔵のバス停から溝上酒造のバスで会場へ。そこは既に若者グループや近所の家族連れなどでいっぱい、弁当や食べ物等の屋台が並び賑やかでした。この酒蔵開きがいかに市民に愛されているかが伺えました。会員それぞれが試飲してご機嫌になったところで、近くの神田会員宅へ。適当な食事処が見つからず、昼食を神田会員宅でさせて頂きました、感謝です。“天心”も持ち込み、奥様の心遣いで和やかな時間を過ごせて大満足の会になりました。(藤原)

歌をうたう会

小倉城の桜も満開を迎え少し雨模様でしたが、晴れ晴れとした気持ちの良い3月28日15時から、西小倉市民センターで定例のレッスンを行いました。出席者5名です。今日は、体幹の中心(腹部周辺)のストレッチから始まり、練習中の源田俊一郎編曲の「村祭」から開始です。何時ものことながら、1ヶ月の空間を埋めるのに時間を要し、「紅葉」「冬景色」「雪」と進みました。最後は起立姿勢で「われは海の子」を加え、既述の4曲を通して歌い、練習を終了しました。(古賀)

茶道クラブ「葉の花」

3月25日11時からいつもの様に古賀会員宅に9名が集まりました。食事を済ませお茶室に入る前、露地の躰(つくばい)の使い方の作法を習って茶室へ。

3月はひな祭りです。床飾りやお雛様が飾ってありました。今回は吉田秀子さんの薄茶のお点前。お茶碗もお雛様の絵付けがあり、みんな楽しみながらお茶をいただきました。お稽古が終わった後はコーヒー等を頂きながら、おしゃべりをして散会しました。(柴村)





「お水取りのお水送り」

No.84 内藤 康子



“お水取り”…知っているけれど、よくは知らない。内藤さんは「死ぬ前にみておきたい」と言う友人たちと出掛けたそうだ。“お水取り”は奈良東大寺二月堂で行われる「修二会(しゅにえ)」という法会の一部で3月12日深夜から13日未明に行われる儀式。東大寺領だった若狭の荘園から水を運搬してきたことに由来し、関加井屋(あかいや)にお水を汲みに行くことから“お水取り”と呼ばれるようになったとか。

「修二会」は現在、3月1～14日まで2週間かけて行われる。若狭(福井県小浜市)から奈良の東大寺まで、本尊の観音菩薩にお供えする「お香水」を運ぶのであるが、「お香水」は若狭神宮寺でその水を送る“お水送り”の神事が行われ、途中僧侶や山伏による護摩だきあり、真竹の籠松明を届ける竹送りあり、火と炎と水の壮大なる法会である。「十一面悔過(けか)法要」とも呼ばれる天災・反乱など国家の病気を取り除くこの宗教行事は752年に始まり、戦時中も一度も止まらず今年で1273回目。

死ぬ前に一度みておいても良いかも知れない。(植田)

3月のお誕生日

おめでとうございます (敬称略)



神田澄男(11日)



遠藤信子(12日)



藤原智子(16日)



安河内幸子(25日)



安高洋一(31日)

ありがとうBOX メッセージ 3月分 (入会順、敬称略)

★感謝です(遠藤) ★87歳になりました。何時もありがとうございます。感謝(神田) ★いよいよ最後の例会会場となりました。従業員一同のお世話には感謝です。ありがとうございました(古賀) ★久しぶりで出席しました(山下博) ★ありがとうございます(吉田秀子) ★スティールハウスに感謝!(松本) ★(植田) ★トランプさん世界はどう変わるのか(吉田信雄) ★(安高) ★春よこい早くこい!!(橋本) ★最後のお食事おいしく頂きました(柴村) ★スティールハウスの従業員の皆さま、お世話になりました(藤原)

収支報告	令和7年2月末残高	50,773円
	令和7年2月17日 利息	16円
	令和7年3月分	5,200円
	令和7年3月末残高	55,989円